

# 国鉄闘争の勝利で労働運動の復権を勝ちとろう！

昌一金属支部 N・K

「国鉄一〇四七名解雇

撤回！闘う労働組合を甦  
らせよう！一〇万署名貫

徹！全国運動の本格的発  
展を」のスローガンもと、

国鉄闘争全国運動六・八  
全国集会が東京文京シビッ

クホールで開催されまし  
た。集会は始めに、韓国

の大型フェリー船セウォ  
ル号沈没事故で犠牲となっ

た人々への黙祷をささげ  
て開始されました。

開催挨拶は国鉄闘争全  
国運動呼びかけ人で、鈴

木 闘争支援・連帯共闘  
会議呼びかけ人代表の花

輪さん。「鈴木コンクリー

ト工業分会は敢然と闘い

勝利しました」と報告が  
あり、そして戦争に向か

う安倍政権を激しく批判  
し、「団結して勝利の展

望を開こう」と訴えまし  
た。

次に連帯の挨拶があり、  
福島診療所建設委員会呼

びかけ人の佐藤さんから  
「今の福島状況とそれの

人たちの心のよりどころと  
なる診療所を支えてほし

い」と訴えました。

次に国鉄闘争全国運動  
呼びかけの労働組合と呼

びかけ人からの訴えがあ  
りました。我が港合同の



中村委員長は、「二〇一

〇年の四・九政治和解を  
ゆる許さず闘ってきたこ

とが動労千葉組合員のJ  
R不採用を不当労働行為

として明確に認定させた」  
と言われ、そして大阪橋

下市長にたいする闘いの

報告を行い、「闘えば必

ず勝利し、働く者が本

当に社会の主人公になるた

めに頑張ろうと」訴えま

した。

次に関西生コン支部の  
柳副委員長から、今春で

一万円の賃上げをかちと  
った報告がありました。そ

の中で「労働組合が自ら  
の拠点をつくり、ストラ

イキを打ち、労働運動を  
広めていけば、必ず多く

の人から共感を得られる」  
と訴えました。

動労千葉の田中委員長  
は「二〇一〇年四・九政

治和解に抗して孤立無援  
の状況から、二〇一〇年

六月に国鉄闘争全国運動  
を立ち上げ、二〇一二年

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

の東京地裁六・二九判決や二〇一三年の東京高裁九・二五判決を勝ち取って、初めて（JR不採用

基準は）国鉄分割・民営化に反対する労働組合に所属する職員を不当に差別する目的、動機の下に策定されたものと認定させ、あと一步で『解雇撤回・JR復帰』をもぎ取るところまで追い込み、戦後最大の労働運動解体攻撃を打ち破る手がかりをつかみました。必要なのは、私達の団結した闘いが展望を示すことです。それが国鉄全国運動の役割です」と訴えました。

国鉄闘争全国運動呼びかけ人の伊藤さんは「国

鉄闘争全国運動は新段階に入り、社会の流れを变えるのは私達自身だ」と訴えました。

次に韓国鉄道労組のオムギリョンさんから昨年十二月の二十三日間の民営化反対の鉄道ストライキについての報告がありました。その中で団結を崩さず闘えているのは「長い闘争の中でつくれた仲間にたいする信頼と闘争の正当性への確信、民営化反対への国民の支持があったからです」と言っていました。

支部のK書記長がカンパアピールを行った後、最高裁勝利判決に向けた決意を動労千葉弁護団長

の葉山弁護士より、一〇万署名の力で勝利判決を！SKさくら交通労働組合のK委員長、解雇撤回・JR復帰署名呼びかけ人のAさんが行い、これを受けて一〇四七名解雇撤回闘争を闘う当該から解雇撤回に向けた力強い決意が語れました。

また職場から闘いの報告と決意もあり、すべての決意を受け、愛媛県職労のU委員長が「国鉄闘争全国運動の新たなアピール」を読み上げて、行動方針の提起、閉会の挨拶、団結ガンバロー、インターナショナルの大合唱で集会を終えました。全国から一六五〇人の結集で会

場が熱気にあふれてました。

戦後最大の労働運動への攻撃だった国鉄分割・民営化に対して不当労働行為と解雇撤回の判決を出させれば労働運動復権へ大きな力となります。一〇万筆署名の力で解雇撤回判決をかちとろう。



組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう!